

6月の生活表

2025年 6月

聖マリア幼稚園

年主題：ともに

月主題：

保育日数（21日）

月目標：＜3歳児＞：かんじる

- ・季節の花、虫、雨や雲の動きなど身近な自然を通し、天地を創られた神さまを感じる
- ・ともだちと一緒に過ごすことを嬉しく感じるとともに、思い通りにならない経験もする
- ・砂や泥水に触れ、おもしろそう、なんだろう、やってみようと思う

＜4・5歳児＞：みつける

- ・聖書のお話の中に神さまの私たちへの愛や守りを感じる
- ・興味をもったことからの探究を楽しみ、体験や知識を広げていく。また絵本やうた、保育者や友だちの話からことばの世界を深めていく
- ・一人ひとりが安心して園生活を送れるよう、またともに暮らしやすいよう、環境づくりや生活習慣の順序やこつを体験しながら習得していく

《 さあ、私たちの子供たちに生きようではないか 》

フレーベルさんの続きを書きましょう。フレーベルが著した「母の歌と愛撫の歌」は母親と保育者のために書かれた本です。これは、子どもの持つ本質をどのように発達に則して養育してるのか、その教育をなぜ行うのかという趣旨です。それは、家庭生活の重要性が解かれ、子どもの感受性とそれを育てる保育者の心の持ち方や子どもへの接し方を学び、保育の理想を高く持つことを勧めています。その中で子どもたちは神様をイメージし、見ることでできないものを見、聞くことでできないものを聴くことの芽生えを持っているとされています。聖書のお話を通して、神様のことを知り、お祈りによって神様と対話し、礼拝で神様と出会うのです。また、実際には母親が子どもに自分のまわりの世界との関係を気づかせ、育てることで、自身の他者や物との関係と子どもに対して使う言葉を大切にするように説いています。発達段階にあった言葉を使うということです。親から人との関係の基本を教えられ、好きな人と嫌いな人、好きな物と嫌いな物、欲しい物と欲しくない物を知るようになります。これは人・物・こととの関わりを紡ぐ基本になり、次第に自分で「遊ぶ」ことへと繋がり、さらに自分で選ばせることで、我が子の選びを観察してみるという視点の大切さが求められます。子ども自身が自ら選ぶことで視野が広がり、興味関心を深め、人間関係も豊かになっていきます。子どもが自分の関わる物や人との関係をどう理解し、自分の世界をどう感じるのか、自身をどのように理解し、受け入れていくのかをしっかりと考えていくことにより、大切な「社会性」が育まれていきます。

人間は神様に創造されたかけがえの無い存在です。命を与えられた瞬間から、私たち大人は「小さきもの」へ愛を持っての受け入れとその子自身を見つめることで、成長発達をしっかりと捉えて、認め、褒め、言葉をかけて育まねばなりません。「さあ、私たちの子供に生きようではないか」と呼びかけられたフレーベルの大切なこの言葉は、命をくださった神様への畏敬の念と共に、保護者と私たち教員が共に力を携えて子どもたちを守るということに他なりません。この季節の自然の空気をいっぱい吸い、子どもの日々の成長を願いましょう。

【 チャプレンコーナー 】

年主題：ともに

年聖句：わたしはあなたと共にいる。（旧約聖書・イザヤ書43：5）

6月月間主題：見つける

月聖句：求めなさい。そうすれば与えられる（マタイ7：7）

NHK、Eテレの「にほんごであそぼ」で、「今日の名文」というコーナーがありました。毎日、いろいろな名文が紹介される中で、唯一、聖書の中から選ばれたのが、「求めよ、さらば、与えられん。（新約聖書・文語訳）」でした。イエス様のみ言葉の中で、日本では多分、この言葉が最も有名なのでしょう。

この言葉は、「何でも求めなさい」と、欲望を無制限に認めたものではありません。「自分の生きる道は、自分で選んで良いんだよ」と、人生を積極的に生きることを勧めた言葉なのです。

私たちの社会には「～～すべき」「～～でなければならない」という言葉があふれています。それぞれの役割や義務を大事にする、という大切な意味もありますが、私たちは時に息苦しさを感じてしまいます。ましてや、キリスト教が日本に伝わった100年以上前には、このような社会的「圧力」はもっと強かったことでしょう。そんな社会の中で、「自分が求めるように生きて良いんだよ」という聖書の言葉は、とても力強い解放のメッセージとして、人々の心を打ったことでしょう。

「求めたところで、かなえられるとは限らない。」これも真理です。確かに、自分だけの幸せを求める時には、欲望は尽きず、実現は困難でしょう。けれども、みんなの幸せを求める時、すぐには実現しなくても、希望を持つことができます。イエス様はこのみ言葉の直後に、こう仰いました。「だから、人にしてもらいたいと思う事は何でも、あなた方も人にしなさい。」イエス様は、自由と希望と愛を、私たちに与えてくださるのです。

♡ おたんじょうび おめでとうございます ♡

<生活指導>

- ♥ 梅雨時の健康には十分気をつけましょう。
 - ・気温の変化に注意し、水分・塩分補給で熱中症を予防しましょう。
 - ・汗をかいたら自分で拭けるように、ハンカチをお持たせください。
 - ・帰宅後の手洗い、うがいがしっかり出来るように習慣付けましょう。
 - ・お風呂・シャンプー・耳垢・爪切りなど、清潔に保つ習慣を心がけましょう。
- ♥ 自分で出来ることには、その意識を持たせて、自分でさせるようにしましょう。
 - ・それぞれの子どもに合わせた身辺自立を心がけましょう。
 - ・雨具が自分でたためるように練習をしましょう。
 - ・プールが始まります。自分でスムーズに着脱ができるように練習しましょう。
 - ・大便の後始末が出来るように、また紙の使い方もご家庭で教えてあげてください。
- ♥ 母の日や父の日を通して、身近な人たちの事を考えてみましょう。
 - ・家族の名前・人数・年齢・仕事などを知らせ、みんなの働きによって日々の生活が成り立っている事を知らせましょう。
 - ・お手伝いは、子どもに物事の流れを体得させ、段取りがつかめるようになると共に周りにも目が向けられるようになり、家族の一員である自覚の芽生えですね。
- ♥ 朝の準備
 - ・就寝前の明日への準備、起床後の準備はスムーズですか。着替え・お手洗い・洗顔・食事・鞆を持って出かける。子ども自身で、前もっての準備が心がけられますように。(=曜日の感覚・時系列、それぞれに伴う内容把握に繋がります。)
 - ・登園前のテレビ・食事時のテレビは消しましょう。食事時の楽しい会話を弾ませ、味覚を感じ、明日の予定を確かめるetc.一日の振り返りと共に、感謝や反省など話題を豊富にし、さらにはできるだけ一定の時間に登園できるようにしましょう。
 - ・身なり(靴下をのばす、髪を束ねる、シャツを入れるなど)を整えましょう。
- ♥ 交通規則を守らせましょう。(子どもと一緒に確認)
 - ・幼稚園にも馴れて来たこの時期、危険に対する自覚を持たせましょう。
 - ・信号の確認・一旦停止・左右確認・飛び出し(降園時の園庭から)禁止など習慣付けてください。また大人は、予期せぬ事故が起こりうることをいつも頭の片隅に入れておきましょう。
 - ・横断は必ず横断歩道を渡り、歩く時は手を繋ぎ、子どもは内側を歩かせましょう。
(どこかで繋がっててください。服を持つ・ベビーカーを持つなど)
 - ・自転車との接触、追突などが起らないように、周りに目を向けましょう。